

第12回木山捷平文学選奨表彰式

笠岡市立笠岡西中学校長 森下泰治

3月5日（日）に、笠岡グランドホテルにおいて、第12回木山捷平文学選奨表彰式が開催されました。本校からも多くの作品が出品され、5名の生徒が受賞しました。

入選【俳句部門】 Y君（2年） 「朝早く外を歩くとセミの声」
【川柳部門】 Tさん（2年） 「戦争が起これば町が焼け野原」
M君（3年） 「人間は失敗をして生きていく」

佳作【詩部門】 T君（1年） 『夏の北海道』
10何年ぶりに北海道にきた 家の裏は日本海
気持ち良い風がふいている おじいちゃんは入院している
意しきはない 目を開けることもできない
おじいちゃんの手をにぎる 次にまた会えるか
会えないかもしれない そんな恐怖にぼくはおそわれた

【俳句部門】 S君（1年） 「手の先にピタッと止まるとんぼかな」

表彰式には入選に選ばれた人の出席でしたが、TさんとM君は都合で欠席し、Y君が出席しました。受賞おめでとう！！

講評の中で、川柳部門の審査員の先生が、M君の川柳を取り上げて、「人は必ず失敗する。それは当たり前だ。『人間は失敗をして』と堂々と言いついてるところに子どもらしい感性を感じる」とほめてくださいました。

また、木山捷平さんの長男の木山萬里さんが「捷平は、本を読んでもらえば生きている」とおっしゃいました。改めて読書の可能性を感じさせられました。



笠岡東ライオンズクラブスポーツ賞表彰式

3月1日（水）笠岡グランドホテルにおいて、笠岡東ライオンズクラブスポーツ賞表彰式が行われました。笠岡市内及び浅口市内の小中学生を対象に、スポーツで優れた記録を残した児童・生徒が表彰されるものです。

本校からは、陸上競技でりっぱな成績を収めたW君が表彰されました。おめでとう。これからも体につけて精進してください。

